

城西大学水田記念図書館 図書館・学長室学務課（研究支援）共催 研究倫理講演会（著作権も含めて）

「研究と論文と不正」

日時：2022年6月7日（火）16:50～18:20

会場：オンライン（Zoom）

講師：時実象一先生（東京大学大学院高等客員研究員）

参加者数：70名 アンケート回答者：48名（回収率 = 68.6%）

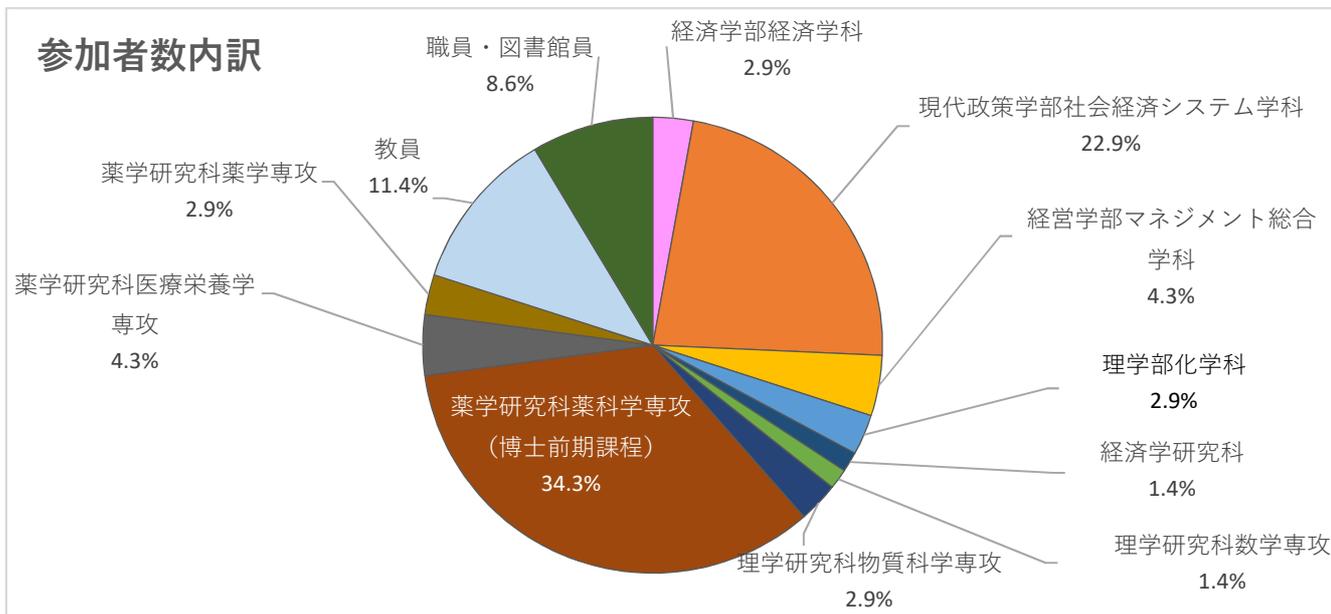
大学院薬学研究科「論文作成法特論」授業との連携で実施

参加者数内訳

単位（人）

経済学部経済学科	2
現代政策学部社会経済システム学科	16
経営学部マネジメント総合学科	3
理学部化学科	2
経済学研究科	1
理学研究科数学専攻	1
理学研究科物質科学専攻	2
薬学研究科薬科学専攻（博士前期課程）	24
薬学研究科医療栄養学専攻	3
薬学研究科薬学専攻	2
教員	8
職員・図書館員	6
合計	70

参加者数内訳

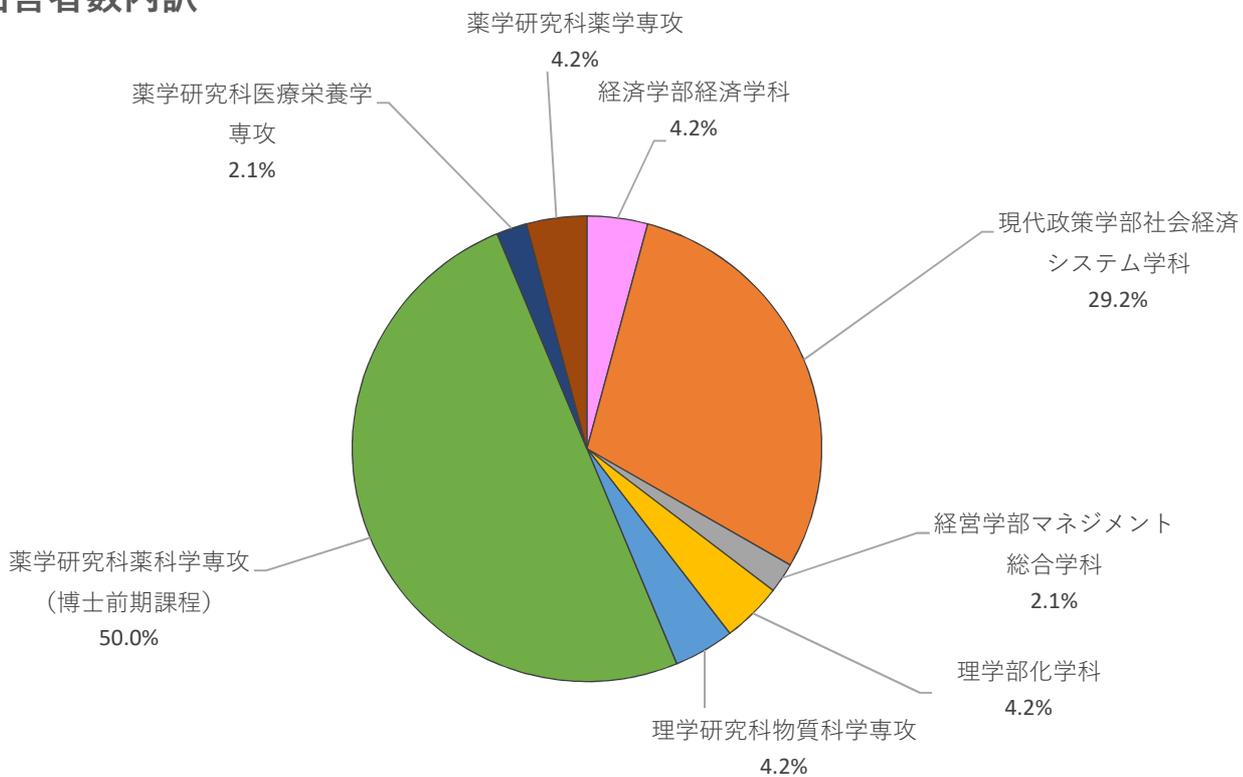


回答者数内訳

単位 (人)

	1年	2年	3年	4年	教員	合計
経済学部経済学科	0	0	2	0	0	2
現代政策学部社会経済システム学科	0	0	0	14	0	14
経営学部マネジメント総合学科	0	0	0	1	0	1
理学部化学科	0	0	0	1	1	2
理学研究科物質科学専攻	1	1	0	0	0	2
薬学研究科薬科学専攻 (博士前期課程)	24	0	0	0	0	24
薬学研究科医療栄養学専攻	1	0	0	0	0	1
薬学研究科薬学専攻	2	0	0	0	0	2
合計	28	1	2	16	1	48

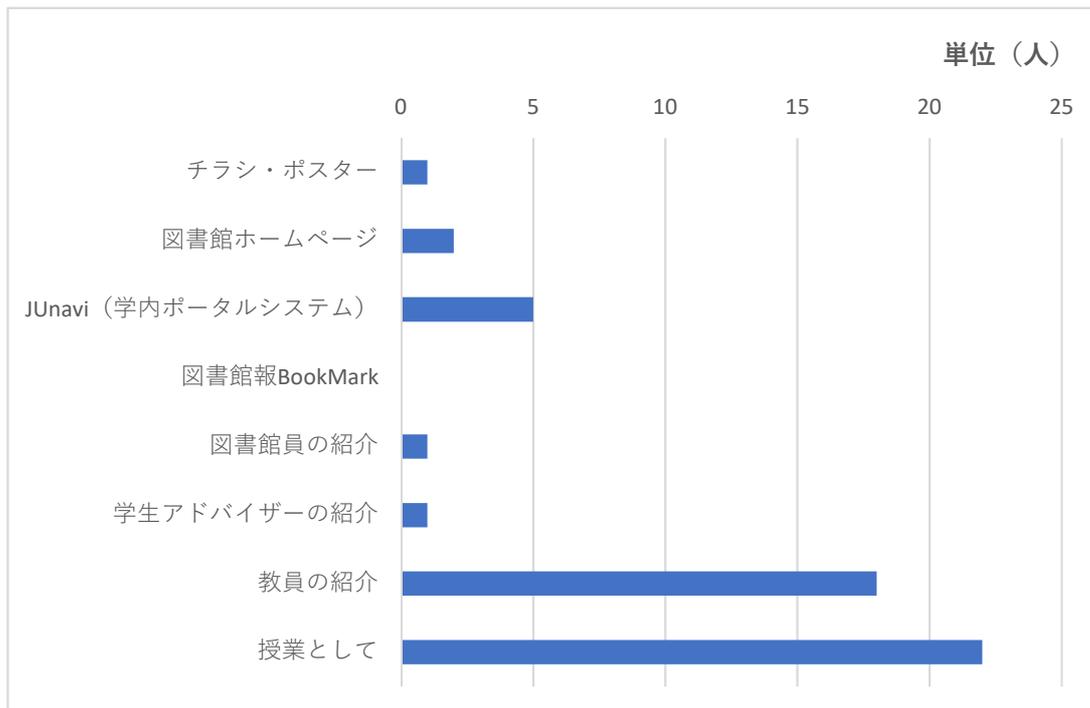
回答者数内訳



1) 今回の講演会を何で知りましたか？（複数回答可）

単位（人）

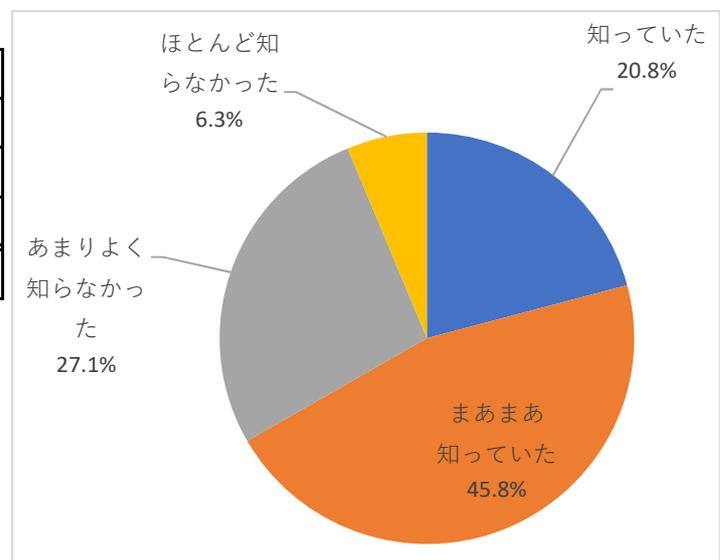
チラシ・ポスター	1
図書館ホームページ	2
JUnavi（学内ポータルシステム）	5
図書館報BookMark	0
図書館員の紹介	1
学生アドバイザーの紹介	1
教員の紹介	18
授業として	22



2) 今回の講演を聴く前に、研究倫理・著作権・剽窃についてどの程度知っていましたか？

単位（人）

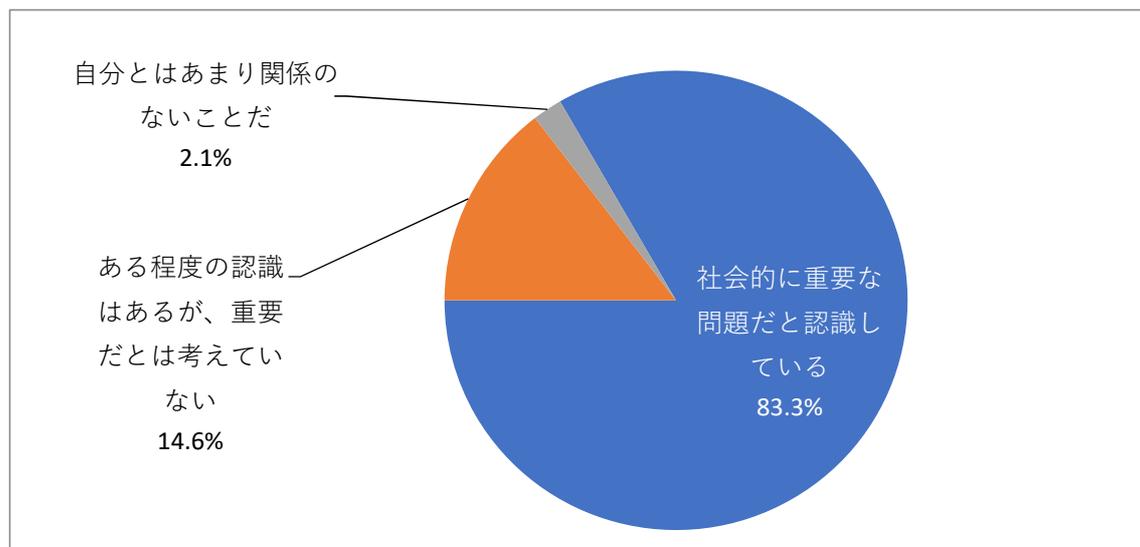
知っていた	10
まあまあ知っていた	22
あまりよく知らなかった	13
ほとんど知らなかった	3
合計	48



3) 論文執筆に係わる剽窃等が社会的な問題となっていることについて、どのような意識を持っていますか？ 最も近いと思うものをひとつ選んでください

単位 (人)

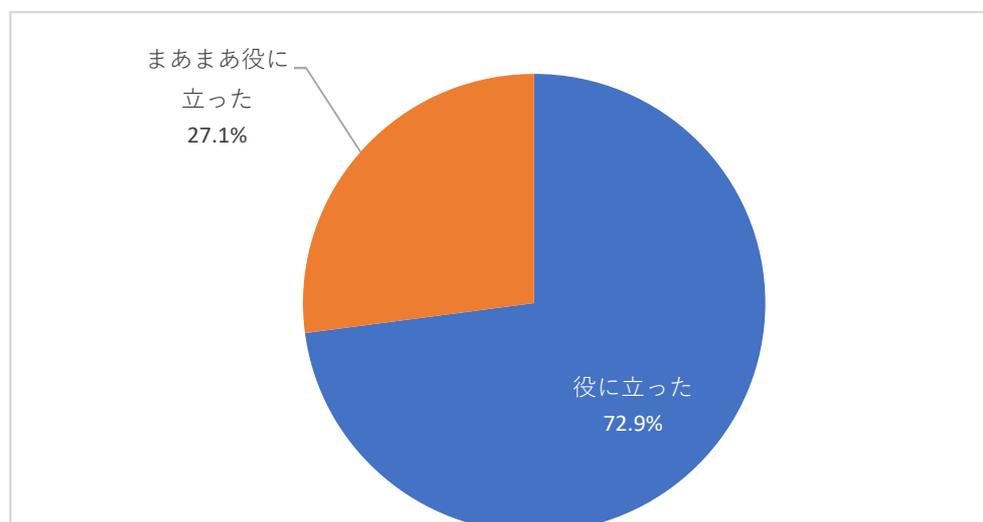
社会的に重要な問題だと認識している	40
ある程度の認識はあるが、重要だとは考えていない	7
自分とはあまり関係のないことだ	1
まったく意識や関心をもっていない	0
合計	48



4) 今回の講演会は役に立ちましたか？

単位 (人)

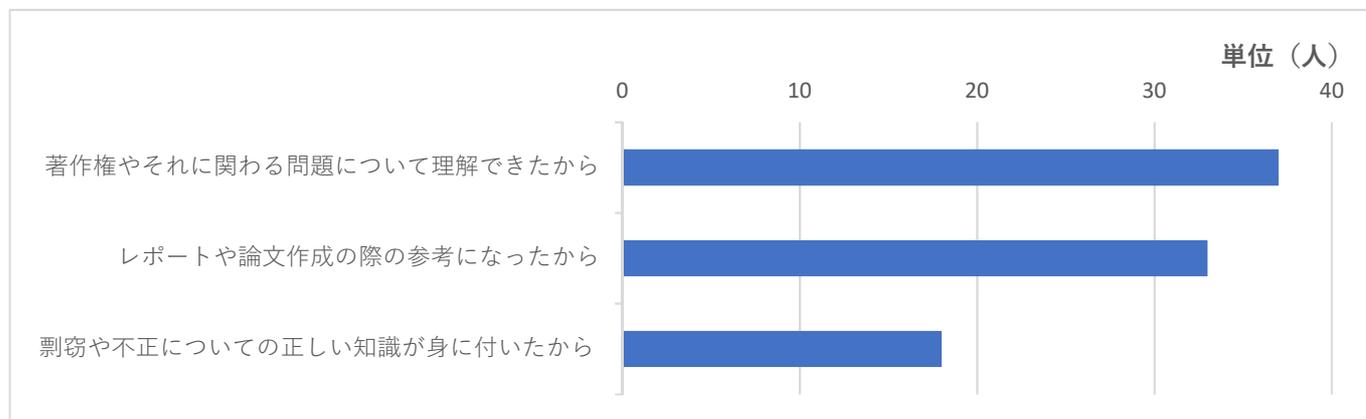
役に立った	35
まあまあ役に立った	13
あまり役に立たなかった	0
役に立たなかった	0
合計	48



4)-1 「役に立った」「まあまあ役に立った」を選んだ理由は何ですか？（複数回答可）

単位（人）

著作権やそれに関わる問題について理解できたから	37
レポートや論文作成の際の参考になったから	33
剽窃や不正についての正しい知識が身に付いたから	18



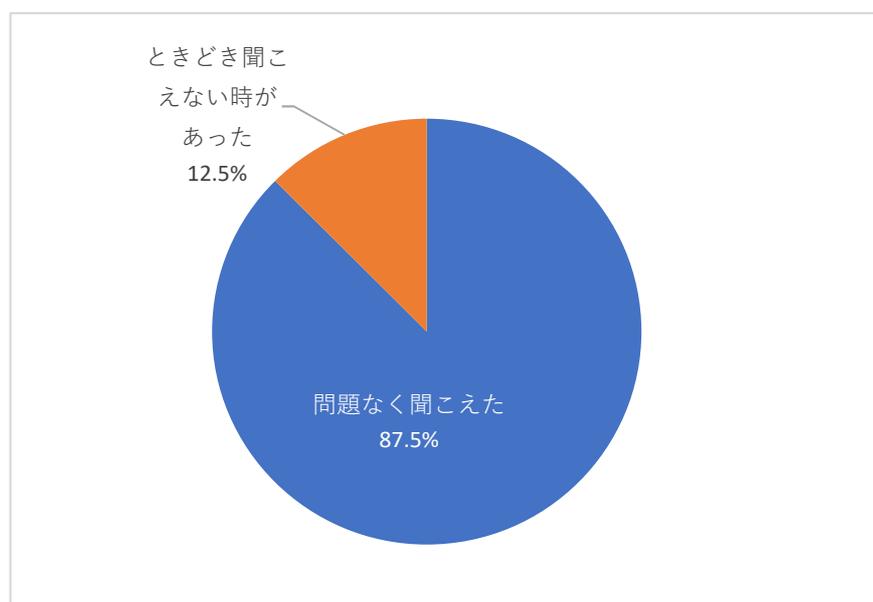
4)-2 「あまり役に立たなかった」「役に立たなかった」を選んだ方は、理由があればお書きください

回答なし

5) オンラインでの音声は聞き取りやすかったですか？

単位（人）

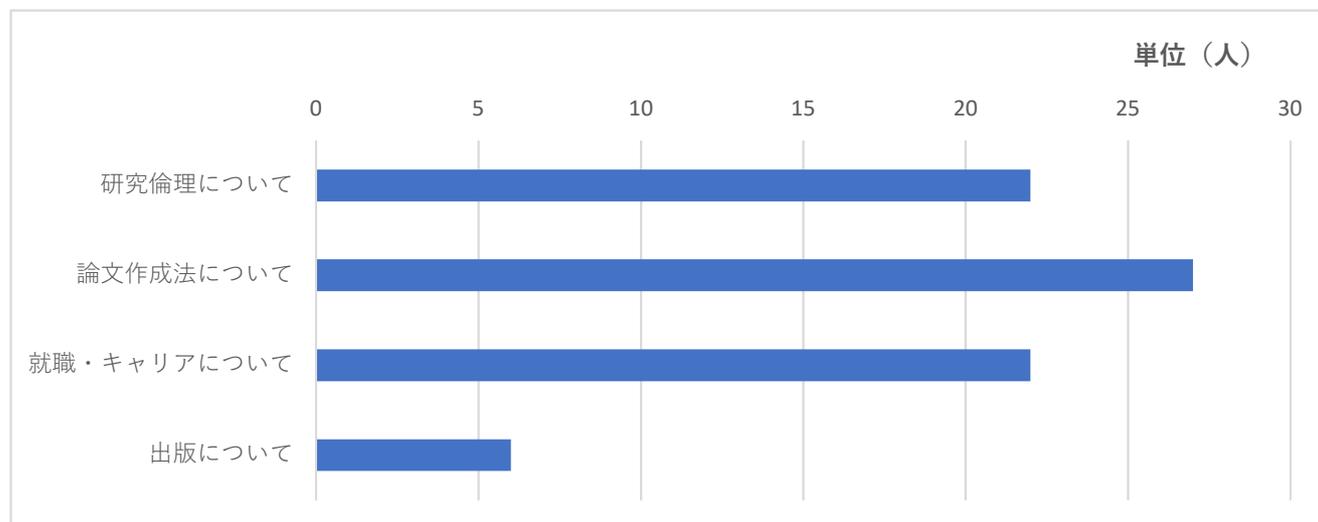
問題なく聞こえた	42
ときどき聞こえない時があった	6
頻繁に聞き取れない時があった	0
まったく聞き取れなかった	0
合計	48



6) 今後、図書館のどのような講演会・講習会に参加してみたいですか？（複数回答可）

単位（人）

研究倫理について	22
論文作成法について	27
就職・キャリアについて	22
出版について	6



7) 今回の講演に関して、ご意見・ご感想をお書きください

とても参考になりました。(3件)
論文作成にあたって盗作や不正をするのは大問題ということが理解できた。(2件)
これからの修論作成にとってもためになる講演でした。
これらの研究倫理と外部資金の適切な使用等(コンプライアンス)との関係についてもっと突っ込んだ説明会を開いてほしいです(たとえば、科研費で不正が行われそのデータ収集に学生が関与していた場合、状況によっては学生が意図しないうちに研究者としての将来を絶たれる場合も考えられるなどの警鐘を鳴らすため)これからの社会では教授が指示したからでは学生も無罪とならない可能性が出てきているので、研究を行う際はスタッフだけでなく学生一人一人がコンプライアンス(研究倫理を含めた)を理解するように啓発する必要があるのではないのでしょうか?このような活動は教学マネジメントなどにも関連して人材育成の一つの方針として本学の人材教育の特徴づけになると思います。
ありがとうございました。
レポートにおいて参考文献や引用は必ず必要なものであり、その使用方法を知識として得ることができ、とても勉強になりました。
学部生の時にも講演を聞いたが大学院生になって改めて聞いて良かったです。
貴重なお話をお聞かせいただく中で、自分でもよく知っている事例なども多く取り上げられており、論文の不正によっておこる問題の大きさに改めて気づくことができました。今回の話をもとに改めて自分の論文作成では不正を行うことなく自分の考えをまとめたものを作ろうと再認識した。
今回参加して、論文作成するにあたって気をつけるべきことを改めて知ることができよかったです。近年では、論文に関してさまざまな不正が取り上げられているので、それを他人事だと思わずに、しっかりと本日学んだことを頭に入れ、レポートや論文作成を行っていきたいと思います。貴重なご講演をありがとうございました。
著作権などに関して理解が深まってよかったです。
著作権などレポートを作る際に必要な情報が今回の講演会で理解できました。
著作権について詳しく分かりました。今後、論文を書く機会があるので事前にわかってよかったです。
難しい部分もあったが、大枠は理解出来た。
比較的最近の例題を扱いながら著作権について話してくださったので、とても聞きやすかったです。もう少し論文の著作権に関する細かいルールや引用方法などを紹介してくださると今後の卒業論文などに活かせると思いました。
本日は貴重な機会をご用意いただき誠にありがとうございました。
論文を作成するうえで、気を付けるべき著作権について改めて理解を深めることができたのでよかった。

※数名の方から、アンケートの身分欄に本来入力できないはずの項目が選択できるようになっていた件について、ご報告をいただきました。ご指摘いただきありがとうございました。